

11月11日は介護の日

若き介護リーダーに聞く
「私の壁の乗り越え方」

東京都内の高齢者福祉施設・事業所で働く若手介護職員によるユニット「東京ケアリーダーズ」。代表の成田雲乃氏は、入職5年目で副主任を務める若きリーダーです。

今回の特集は、介護業界内外からも注目を浴びている、メディカル・ケア・サービス株式会社の杉本浩司氏、若くして介護のリーダー的存在となった株式会社 Salud 代表取締役の中浜崇之氏を迎え、成田氏が直面する若手リーダーの「壁の乗り越え方」を話し合います。

すぎもと こうじ
杉本 浩司

メディカル・ケア・サービス株式会社 サービス創造統括部コーポレートコミュニケーション部長。「日本一かっこいい介護福祉士」として業界内外から知られ、多くのメディアに登場。「東京ケアリーダーズ」の広報アドバイザーも務めている。

なかはま たかゆき
中浜 崇之

株式会社 Salud 代表取締役。「自分らしく死ねる社会を創る」をビジョンに掲げ、束縛を受けないのんびりとした暮らしをサポートする「ジテキ(自適)」などの独自サービスを提供中。高齢協の情報・広報室アドバイザーも務める。

なり た うんの
成田 雲乃

社会福祉法人三幸福社会 特別養護老人ホーム癒しの里南千住 介護福祉士・副主任。介護課リーダーを務め、広報担当のリクルーターとしても活躍。高齢協では「東京ケアリーダーズ」代表としておなじみ。介護の魅力を広く伝えるため、現在奮闘中。

KOUREIKYO
JOURNAL
& TOKYO

高齢協ジャーナル

第15号

2025年11月11日(火) 発行

発行：社会福祉法人東京都社会福祉協議会
東京都高齢者福祉施設協議会
(東京都新宿区神楽河岸 1-1)
Tel. 03-3268-7172
発行人：会長 田中雅英

<https://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei>

東京 高齢協協会 検索

ホームページにて高齢者福祉
情報を発信しています。

目次

対談 中浜 崇之氏×杉本 浩司氏×東京ケアリーダーズ リーダー 成田 雲乃氏 壁の乗り越え方.....	1-2
東京ケアリーダーズ 活動紹介	3
高齢協TOPICS・室長コラム	4

東京都高齢者福祉施設協議会とは？

東京都高齢者福祉施設協議会（高齢協）は、社会福祉法人東京都社会福祉協議会（東社協）の業種別部会連絡協議会に属する部会の一つとして、東京都内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・デイサービスセンター等を会員とする組織です（会員数約1200 施設・事業所）。

新卒採用における近年の課題

成田 私は入職5年目の介護福祉士として、2024年からユニットリーダーを務めつつ、今年副主任になりました。施設では採用にも関わりながら、職員の入職に結びつくよう「東京ケアリーダーズ」の活動をはじめ、外部発信を積極的に行っています。

近年、新卒採用で感じる悩みは、入職してから特段理由はないけれども意欲を失ってしまいうケースです。理由の1つには、本人が介護にもともと興味は薄く、「エージェンツや学校の先生に勧められたから」という他責の思考があると思いますが、それでも現場としては「介護業界を選んでよかった」と思っている。採用段階で、どのように面接をしたらお互いにとって幸せなのか。私もよく知らずおふたりに伺いたいです。

中浜 介護の職場は、極論を言ってしまうと、ある程度この施設も同じようなケアをしていると思います。そのなかで採用でも職員教育でも大事なのは、法人が何を大事にしたいか。いわゆる法人の理念です。

私が最後に勤めた特養で実践したのは、私たちのケア目標を職員全員に考えてもらったことです。ユニットごとに具体的内容を10個挙げて一覧表にし、そこから達成できていること、できていなかったことは何かを考えます。できていないことがあれば、どの順番で実現したいか。順位付けしたものを、採用面接の際にすべて見せるようにしていました。

法人が達成できていること、できていないこと、目指していることを詳らかにすることで、採用でも通常業務においても、ミスマッチを防げると思います。

杉本 採用に限らず、日々の業務でも法人の理念を確認することはとても大事です。今、私が受け持つ法人の各部門では、毎日の朝礼で「あなたは法人理念に対して、今日はどうな行動をしますか？」と問いかけて、理念に対しての行動宣言をしてもらっています。そうすることで、理念が内省化されていくからです。

法人理念を自分ごとにするのがなぜ必要かというと、介護士は10人いたら10通りの介護観があるからです。専門教育を経た看護師

などは基本、同じ看護観を持っていますが、介護士は専門知識や経験を問わず入職できるため、唯一抛りどころとなるのが法人の理念だからです。そこに納得して入職するかどうか、採用のポイントになると思います。

成田 理念に対しての行動宣言。これは肝に命じないといけませんね。

中浜 あと他責の職員をどうやって自分で考えて行動する人に変えていけるかは、介護に限らず、どこの業界でも課題にしています。意外と自己決定できる人が入職すると、急に他責の職員も成長することがあって、環境や役割が人を育てることはあるかもしれないですね。

ご家族とご利用者の対応について

成田 2つ目の悩みは、ご利用者、ご家族との対応です。ご家族から「新人を付けないでください」と言われた職員がいて、直接私はご家族と話していないのですが、職員には「ご家族からすれば、たったひとりのお母さまに関わることで、介護1つとっても慎重になる。それでも介護は、未来につなげていかなくちゃいけない。だから若手職員も、ご家族から大きな経験をいただいているので、そこをちゃんと自覚してやっていきましょう」と伝えました。果たして、この対応は正しかったのでしょうか？

中浜 介護士は、国家資格がなくともすぐに仕事に就ける人材の幅広さがあります。その分プラスとマイナスの面があって、マイナスに出たときにこういう問題は起きますよね。

でも、ご家族の意見はもつともです。100点が出せる人に付いてほしいのは、お客さんの立場からすれば当たり前の話です。では課題の本質は何か。それはご家族がなぜそうおっしゃったのかを成田さんが直接伺えていない点にあるのではないのでしょうか。実際にご家族は何を課題だと感じていらっしやるのか。そこを伺って、成田さんは「しっかり教育をして、不安を解消するべくチームで努力しますので、少しお時間をもらえませんか？」とご家族にお話しすると思います。

杉本 中浜さんの意見にプラスすると、新人職員の成長過程をご家族にしっかり見せていくのも1つの手です。ご家族と挨拶するとき、成田さんが「新しいメンバーを私がしっかり指導します」と言って、ご家族が見えるところで指導をする。するとご家族は、新人職員が成長のステップを踏んで独り立ちする過程が見られます。また、なかには「新人を育てたい」という稀有なご利用者もいらっしゃると思いますよ。そういうご利用者に甘えていくやり方もアリだと思います。



成田 もう1つの相談は、看取り期で看護師から食事を止められたご利用者のことです。それでもご家族は「母は喉が乾いたと言っている」とおっしゃって、どうしても食べさせたい。介護職がご家族から直接頼まれた際の対応は、どのようになさっていますか？

杉本 成田さんは、どう対応しますか？

成田 直接対応した職員は、看護師が食事を止めなくてはいけない理由をご家族に一度話をしています。そのうえで、私は職員と一緒にご家族のお話を伺って、「私としてもお食事の提供はしたいです。でも食事をすること、結果的に窒息や誤嚥を招いて、ご本人に苦しい思いをさせてしまうのは、一番辛いのではないのでしょうか。介護職だけでは判断ができないため、今のご要望を踏まえて、食べ物風味だけでも味わうことができるかどうか、看護師に相談してみますね」と、ご家族にお伝えすると思います。

中浜 問題の本質が、新人の話と似ていますね。いつも課題の本質は何なのかを考える癖を付けて、成田さんはもっとチームを意識した方がいいと思います。私なら生活相談員を巻き込みます。

大事なのは、ご利用者とご家族がどんな最

期を迎えたいかです。介護職や看護師の主観だけで話をせずに、「Aさんがこういう最期を迎えたいとおっしゃっています。皆で何ができると思いますか？」と、それぞれの専門職に聞いてみる。どこまでならできるのかをチームみんなで決める。そこからご家族に了承を得て、チーム全体で実行する。成田さんの話だと、成田さん自身が責任を背負いすぎの可能性があるんですね。他の人を頼って、みんなで解決した方がよい気がします。

外部仕事と現場との両立の難しさ

成田 最後の相談は、若手とベテランの認識差、理想と現実のズレについてです。私は現場のリーダーを務めながら、「東京ケアアリーダーズ」をはじめ、法人のPRなど、介護の魅力を外部発信する活動をしています。これは法人の経営層から「外部活動でどんなPRして、採用につなげてほしい」とお願いされていることでもあります。

しかし私が外で活動する間、ヘルプに入る職員の方々がいらつしやるわけです。そして長年現場一筋で働かれている方々からすると、「PR活動はいいから、成田さんは現場にいてほしい」という声がどうしても上がるわけです。私としては日々、負担をかけて申し訳ない気持ちでいるのですが、フロアの理解が得られないと、後輩が介護の発信をためらってしまうかもしれません。特に介護業界内外で講演活動をされているおふたりに、現



場と外部での広報活動の両立について、伺いたいです。

中浜 一番大事なのは「PR活動をやりなさい」と言う経営層の声と行動した後の結果を、一緒に働くフロアの職員さんに届けられているかだと思います。

私ならまず施設長に「私がPR活動を勝手にやっていると考える方がたくさんいるので、仕事がつらいです」と率直に打ち明け、施設長にこうお願いします。「法人、施設の広報として、成田さんは動いてください」と皆の前で発表するか、その旨を書面で張り出してください」と。そうでないと、胸を張って外部の活動ができないからです。

また半年に1回でも外部活動の結果資料を作って、フロアの皆さんに感謝を伝えると思います。「施設の見学は何人、そのうち採用は何人、Instagramのフォロワーはこれだけ増えた」みたいなことです。そのうえで、「いつもありがとうございます。皆さんののおかげで、このような結果が出ています。私が自由に施設を出られるのも、Aさん、Bさんのおかげです」と感謝を伝える。結果がないと、施設にいる職員は外出理由がよくわからないからです。



杉本 成田さんは、現場スタッフの納得度をどう上げるかを考えた方がいいと思います。スポーツ選手やアーティストは表彰されたとき、必ず裏方さんやファンの皆さん、家族への感謝をまず先に言いますよね。成田さんも、感謝を大声で伝えればいいんですよ。

中浜 私もうれしいことや感謝することは、とにかく大きな声で言うようにしています。例えば本人がその場にいないくても、他の職員さんが必ず本人に伝えますから。

成田 本当にそうなんですよね。私もこの場

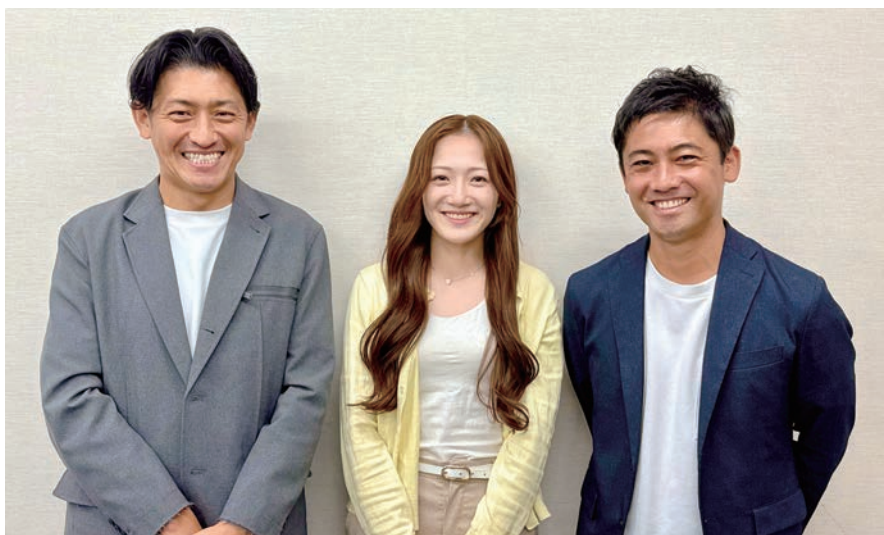
を借りて言わせてください。

「東京ケアアリーダーズ」として外部活動をさせていただき、また施設でリクルーターや広報活動に関わらせていただくことができるのは、本当に現場の皆さんのおかげです。そして主任さんの力が、今の私を支えてくださっていると思います。いつも本当にありがとうございます！

中浜 多分、成田さんは職場でも年齢の割に出世が早い方だと思っんです。ひとりで頑張ってしまうと敵がどんどんできてしまうけど、助けてもらおうと仲間が増えます。「私は苦手なので、助けてください」と弱音を吐くことで、後輩たちも「苦手って言うっていいんだ」と心のハードルが下がります。

介護は専門的な教育を経なくても、すぐに仕事に就けるよい面があります。そして一般の仕事に比べ、年代も含めて、自分と違う人が圧倒的に多い職場です。「根本的に人は違うこと」を前提にしないとしんどい仕事ですが、それを理解してしまえば、こんなに面白くて楽しい仕事はないですよ！

成田 本当に！ それは間違いありませんね！



東社協
東京都高齢者
福祉施設協議会

高齡協会長
@koureikyoo

高齡協公式
@TokyoKourei

Facebook

Instagram

高齡協公式 SNS 更新中♪

フォロー、

よろしくお願いします🐾



KOUREIKYOO



YouTube



東京ケアリーダーズ 活動紹介

東京ケアリーダーズとは

東京都内の高齢者福祉施設・事業所(東京都高齢者福祉施設協議会 会員施設)で働く若手介護職員によるユニット。

メンバー全員が特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどの高齢者福祉施設で働く現役の若手介護職員です。自分たちの言葉で「介護の仕事の魅力」を伝えることを目的に活動しています。



東京都高齢者福祉施設協議会
マスコットキャラクター「アクティブル」

新体制について

今年度に入り、東京ケアリーダーズではメンバーの大幅な入れ替わりがあり、新生メンバーで再スタートを切りました。今後も東京ケアリーダーズの活動目的である「介護の仕事の魅力発信」に積極的に取り組むと共に、今まで以上に東京ケアリーダーズの知識や経験を活かしていけるような活動に取り組んでいきたいと思っています。



新メンバーに
聞いてみた!

ケアリーダーズに入った理由

きっかけは、施設長からの推薦でした。初めてのことが多いですが、何事にも前向きにチャレンジしていきたいです！
今井苑 生田目さん



若手職員として介護の魅力を色々な人に発信していきたいと思ったからです。
白十字ホーム 西村さん

始めは上司からのお勧めでしたが、活動内容を伺い、自身の知る介護の楽しさや魅力をより多くの方と共有したいと思い、参加させていただきました。
ひのでホーム 福田さん



自分の視点を広げることと、介護の魅力を一人でも多くの人に伝えられたらと思ったからです。
あかね苑 芝山さん

活動報告

アクティブ福祉 in 東京'25 「ケアトーク～現職介護士と話そう～」

6月13日にはアクティブ福祉 in 東京'25が開催され、東京ケアリーダーズは「ケアトーク」のブース設営という形で参加させて頂きました。若手の介護職員と気軽にトークができるというテーマの元、実際に介護の現場で働く方々と、ケアリーダーズのメンバーが交流する機会を設けることができました。他施設の現状や悩み、嬉しかった出来事などについて意見交換をすることで、刺激を多く受けることができました。ケアリーダーズは今後も、介護・福祉の現場で活躍する方々の交流の場となれるよう、活動の輪を広げて行きたいと考えております。また、今回のケアトークは40人以上の方に足を運んで頂き、過去最高の人数となりました。

写真：日本福祉教育専門学校における活動の様子



写真：アクティブ福祉 in 東京'25
東京ケアリーダーズ活動の様子



日本福祉教育専門学校訪問

先日、東京ケアリーダーズは日本福祉教育専門学校の留学生を含む生徒の方々へ現場ならではのお話をしてまいりました。7月と10月に行い、実際にメンバーが経験した事例をもとに利用者へ対する尊厳を意識した対応や背景から得る情報収集とケアへの繋げ方をお伝えして参りました。日々の定例会を通してケアリーダーズのメンバーと話し合い、講義では寸劇も取り入れることで、より現場のリアルをお届けできるよう工夫しました。これから私たちと同じ介護の現場に出ていく学生の方々が、少しでも就職した先で活かせる知識になればと想いを込めて挑みました。私たち自身も、今回の経験を糧に今後も介護の魅力発信に努めてまいります。

今後の 展望

学生を対象に介護職と関わり福祉を身近に感じてもらう活動や、現役の介護職を対象に現場の第一線で働く同士で気軽にトークし、やりがいやモチベーションを再認識し、離職の軽減に繋がる活動を企画中です。ケアリーダーズのメンバー1人1人の魅力にスポットを当て、介護職としての憧れを抱いてもらえるような存在を目指していきます。

高齢協TOPICS

きっと見つかる！あなたのまちの「ちいきの輪」

～「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」参加施設一覧～（定期開催、11月開催分）



つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO とは？

東京都の高齢者福祉施設がお互いに協力しながら、地域によりそうためのイベントや交流会などを、都内各地で一斉におこなうキャンペーン。この機会に是非お近くの高齢者福祉施設のイベントにご参加ください！

区市町村	主催施設・事業所名	取り組み名	取り組みの種別	開催日時
港区	洛和ヴィラ南麻布	ありすフェス	地域交流	11月2日(日) 10:00～15:00
台東区	やなか地域包括支援センター	認知症カフェ「カフェやなか」	認知症	偶数月に1回開催
台東区	特別養護老人ホーム谷中	やなかまサロン	カフェ・居場所	毎月1回、金曜日 11:00～12:45
墨田区	墨田区特別養護老人ホーム たちばなホーム	たちばなカフェ ～カフェから繋がる地域共生社会の輪～	地域交流	11月11日(火) 10:30～11:30
品川区	社会福祉法人品川総合福祉センター	ヤングケアラーサポーター養成講座	啓発講座	11月25日(火) 12:00～11月29日(土) 12:00
品川区	社会福祉法人品川総合福祉センター	しなふく食堂	カフェ・居場所	毎月1回水曜日 16:30～18:30
品川区	社会福祉法人品川総合福祉センターかえで荘	しなふく食堂コラボお弁当	地域福祉向上	毎月2回～3回 15:00～17:00
品川区	品川区中延在宅介護支援センター	喫茶せせらぎ	カフェ・居場所	毎月第3木曜日 13:00～16:00
品川区	品川区立中延在宅サービスセンター	緑の力で元気ハツラツ	介護予防・高齢者支援	11月22日(土) 13:30～15:00
大田区	社会福祉法人響会	ひびき ほっとサロン	介護予防・高齢者支援	奇数月、第3日曜日 10:30～12:00
大田区	大森老人ホーム	ホームDEランチ	介護予防・高齢者支援	毎週金曜日 12:30～13:30
世田谷区	千歳敬心苑	秋フェス	地域交流	11月16日(日) 11:00～15:00
世田谷区	特別養護老人ホーム下馬の家	弦巻の家スマホcafe	地域団体との協働	11月27日(木) 14:20～15:30
渋谷区	社会福祉法人パール	パールライフ	介護予防・高齢者支援	毎週月・水・金曜日 11:00～14:00
中野区	松が丘高齢者在宅サービスセンター	ティーサロン華	カフェ・居場所	毎月第4水曜日 11:30～13:00
豊島区	菊かおる園	認知症カフェ『そよかぜカフェかもん』	カフェ・居場所	毎月第2・第4木曜日 14:00～15:30
荒川区	特別養護老人ホーム 癒しの里 南千住	いやし食堂	カフェ・居場所	毎月第4土曜日 12:00～13:00
足立区	介護老人福祉施設ケアホーム足立	あだちご近所マルシェ	地域交流	毎月第2木曜日、隔月第4土曜日 11:30～14:30
足立区	高齢者在宅サービスセンター西新井	ボランティア交流会	地域交流	11月10日(月) 10:30～11:45 11月17日(月) 13:10～14:50 11月28日(金) 13:10～14:50
江戸川区	なぎさ和楽苑	多世代の子ども食堂「なぎさ☆キッチン」	世代間交流、居場所づくり	毎月第4土曜日 16:00～18:00
江戸川区	なぎさ和楽苑	若年性認知症の家族会カフェ(あしたばカフェ)	認知症	偶数月、第3日曜日 13:30～15:30
江戸川区	なぎさ和楽苑	若年性認知症の就労支援	認知症	毎週火・木・金曜日
江戸川区	なぎさ和楽苑	ケアラズカフェ「よしみち」	相談・家族支援	毎週火・木曜日11:00～15:30(祝日除く)
江戸川区	なぎさ和楽苑	地域の学びと交流の場【学び舎なぎさ】	学びの機会	毎月開催
武蔵野市	特別養護老人ホームさくらえん	さくらんち	カフェ・居場所	毎週水、金、土曜日 11:30～13:30
青梅市	特別養護老人ホーム 今井苑	青梅インター清掃	地域清掃	毎月第3木曜日 10:00～11:00
府中市	社会福祉法人多摩同胞会 緑苑	安心シニア塾	学びの機会	上半期4回 下半期4回 第3木曜日 10:00～11:30
府中市	府中市立介護予防推進センター	長いいききフェスタ	介護予防・高齢者支援	11月1日(土) 10:00～17:00
小金井市	特別養護老人ホームつきみの園	地域の防災サロン	防災	奇数月最終週金曜日 13:30～14:30
小平市	社会福祉法人 緑友会 小川ホーム	だれでも食堂「おがワン広場」	カフェ・居場所	毎月第4日曜日 11:30～13:30
小平市	社会福祉法人 緑友会 小川ホーム	ふれあい交流イベント「おがワンフェスティバル」	地域交流	年1回 10:00～14:00
小平市	社会福祉法人 緑友会 小川ホーム	笑顔でつながるおれんじパントリー	認知症	第2日曜日 10:00～11:00
日野市	デイサービスセンター マザアス多摩川苑	見守りとしっかり栄養 配食サービス	介護予防・高齢者支援	月～金曜日 10:00～11:00
東村山市	白十字ホーム	第10回八国山フリーマーケット	地域交流	11月16日(日) 12:00～15:00
東久留米市	社会福祉法人 三育ライフ	シャローム祭	地域交流	11月2日(日) 10:30～13:30
東久留米市	社会福祉法人三育ライフ シャローム東久留米	佳辰の会(かしんのかい)	カフェ・居場所	毎月第1木曜日 13:00～15:00
東久留米市	社会福祉法人三育ライフ シャローム東久留米	シャロームカフェ	カフェ・居場所	毎月第3土曜日 13:00～15:00
東久留米市	東久留米市中部地域包括支援センター	失語症当事者の会 チャレンジ	カフェ・居場所	毎月第2土曜日 13:00～15:00
東久留米市	特別養護老人ホームけんちの里	たけのごサロン	カフェ・居場所	毎週金曜日 10:00～15:00
羽村市	社会福祉法人亀鶴会 特別養護老人ホーム神明園	多世代の居場所づくりプロジェクト UI～結～ 高齢者の居場所 より処	カフェ・居場所	毎週月・水・金曜日 10:00～15:00
あきる野市	あきる野市、あきる野市地域包括支援センター、 あきる野市介護事業者連絡協議会	介護サービス普及啓発イベント「介護の日」	地域団体との協働	①11月4日(火) 13:00～11月7日(金) 12:00 ②11月8日(土) 10:00～16:00
あきる野市	あすなるみんなの家	シルバー麻雀「リーチクラブ」への協力	地域交流	毎週水曜日 12:00～16:00
瑞穂町	社会福祉法人 梅の樹会 フラワープラム	こども食堂フラワープラム	カフェ・居場所	毎月第4日曜日
瑞穂町	特別養護老人ホーム良友園	ふれんどサロン	介護予防・高齢者支援	奇数月第3火曜日 10:30～11:30

詳しくは、**高齢協 つなひろ** で **検索**



室長コラム

高市政権が発足し、所信表明演説では、物価高騰により医療・介護現場の経営が厳しさを増す中、「報酬改定を待たずに補助金を措置する」との方針が示されました。介護の現場で働く者にとって、心強い一歩といえるでしょう。

今号のテーマは「若き介護リーダーに聞く『私の壁の乗り越え方』」。東京ケアリーダーズ代表の成田雲乃さん、そして本協議会情報・広報室アドバイザーの中浜崇之氏、杉本浩司氏による対談をお届けしました。日々の悩みや葛藤を率直に語りながら、介護の未来を自分たちの言葉で切り拓こうとする若手の姿に、改めて現場の力強さと可能性を感じます。

人材不足が続く中、こうした若いリーダーの存在こそが希望です。情熱と柔軟な発想を持つ彼らが次の世代へと介護の魅力と誇りをつなぐ姿に、私たちは大きな期待を寄せています。

その思いを支え、彼らの声を社会に届け、介護の価値を伝える架け橋となることこそ、KOUREIKYO JOURNALの使命であり、私たちの願いです。情報・広報室も、現場の声を力に、介護を誇れる仕事として輝かせる発信をこれからも続けてまいります。

情報・広報室 室長

水野 敬生